

高総第 268 号
令和 5 (2023) 年 12 月 7 日

高根沢町議会清流会
代表 野 中 昭 一 様

高根沢町長 加 藤 公 博



令和 6 年度町政運営に関する政策・予算提言に対する回答について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政運営に関しご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 5 年 9 月 14 日付けで提言のありました標題の件につきまして、別添のとおり回答いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

- ① 近年、带状疱疹を発症し、痛みが長く残ったり、重症化して視力低下や難聴の症状が出たりする患者が増えています。これまでは、50歳を超えると発症し易いと言われていましたが、最近は新型コロナウイルス禍などのストレスのためか、若い世代も含めて発症者が増加しているようです。

予防にはワクチン接種が有効ですが、費用が高額のため接種をためらっているとの声があります。重症化や後遺症を防ぐため、高齢者の健康対策を進めるためにも、予防接種の助成を行うこと。

【回答】

带状疱疹ワクチンの接種費用の助成については、新年度から実施することとし、塩谷郡市2市2町の調整を含め、現在準備を進めております。

- ② 地球温暖化が進み、この夏は記録的な猛暑となっています。児童・生徒の学習環境の安全・充実を図ることや、小中学校の体育館が防災の拠点であり避難場所に指定されていることを考慮すると、お年寄りや幼い子供、妊婦などの体調管理には、空調設備の設置は必要であることから、次の二点に関し施策を進めること。

1 阿久津及び北高根沢中学校の美術室や、特別教室、家庭科室にエアコン等空調設備を設置すること。

2 小中学校の体育館のみならず農業者トレーニングセンター等全ての町有体育館にエアコン等空調設備を設置すること。

【回答】

小中学校のエアコン等空調設備が未整備の特別教室等については、財政計画や、今後の学校規模適正化における学校の統廃合等との整合を図りながら計画的に整備してまいります。

また、町有体育館のエアコン等空調設備の整備につきましても、公共施設等総合管理計画や新庁舎整備基本計画等を踏まえて、小・中学校体育館と同様に、設置を検討してまいります。

- ③ 児童生徒が安心して美味しい給食を食べることができる環境整備は重要である。現在の学校給食センターは、東日本大震災の影響や経年劣化等により老朽化が進んでおり、令和5年度当初予算に計上されていたにも関わらず、6月の補正予算で予算額全てが減額された。

学校給食センター更新に向け令和6年度は確実に予算を計上すること。

【回答】

学校給食センターの更新については、令和8年度夏休み明けの供用開始を予定しておりましたが、改めて事業費を精査したところ、資材高騰等により、当初の財政計画上の金額を大きく超過する額となりました。また、新年度からは「阿久津中学校の大規模改修工事」を予定しており、財政計画との調整を必要としたため、更新時期を先送りしたものです。

今後は、更新までの期間の維持管理計画の見直しを含め、改めて施設の更新計画を策定し、今年度中にお示しします。

- ④ 本町の基幹産業は農業であり、その将来性を考えると担い手の育成・確保、効率的な農地利用、生産性の向上は必要不可欠な状況であることから、土地改良による圃場の大区画化の推進に向け、優先的に事業を推し進めるための予算措置を講じること。

【回答】

土地改良事業の実施については、地域の農業者の合意形成が前提となるため、懇談会等において、事業の必要性の浸透を図ってまいります。

その上で、合意形成が得られた場合には、事業推進のための予算措置を講じてまいります。

- ⑤ 本町の人口減少の一因として、近隣市町に比較して住宅用地が高いために本町での住居建築をあきらめざるを得ず、他市町で建築する事例が多いことがあげられる。

昭和45年に宇都宮都市計画区域の指定を受け50年以上が経過している現在では、当初の構想とは異なり人口の偏りが顕著となっている状況の改善に向け、区域の見直しに着手すること。

【回答】

都市計画区域の見直しについては、まちづくりに大きく影響を及ぼすような状況変化に伴い、高根沢町都市計画マスタープランの見直しと合わせて検討することがあり得えますが、現状においても、市街化調整区域については、地区計画や開発許可等の活用による土地利用の変更が可能であることから、まずは地域内において十分に協議し、意見を集約していただくことが必要であります。